

- センター試験速報
- 河合塾模試について
- 都立入試の期間を使って

ネットワークを大切に

生物科 佐藤由紀夫

ネットワークといっても私が大事だと思うのは人と人のつながり、人のネットワークです。生命科学に限らず、仕事や研究は細分化され一人で広い分野に精通することは難しいものです。自分の仕事や研究の中で「ここがわからない」とか「このサンプルを分析したいのだけれどどうやれば良いのか」といったとき、あの人に聞いてみよう、あの人に頼んでみようといったネットワークを持っていればとても力になります。物理や化学、数学といった近い分野だけでなく、ときには社会科学の専門家とのつながりが役に立つこともあります。

しかし、このようなネットワークはそれなりの努力をしないと作れないし、維持もできません。私が筑波大学の社会人大学院生として博士後期課程に在籍していた時、指導教官の教授は毎年秋になると自宅の庭でバーベキューの会を催し、ご自分の知り合を大勢集めていました。その会で教授は「この場で大いに語らい人と人のネットワークを作ってほしい」と言っていました。このような直接話ができる交流の場には面倒がらずに積極的に出かけるように心がけています。

そして知り合った人に聞きたいことがあったらためらわずメールなどで連絡してみることです。自分の専門のことを聞かれると、たいていの専門家は喜んで答えてくれます。ネットワークは使わないと消えてしまいます。また面識の無い専門家にメールで質問することでネットワークが新たに作られることもあります。見知らぬ高校生、大学生の質問に親身に答えてくれる専門家もたくさんいます。

反対に自分が得意なことを聞かれたとき、自分にできることを頼まれたときは断らないことです。質問に答えることや、仕事を引き受けることでネットワークが維持できるし、自分自身の経験値も上がります。

以前、土壌微生物のアミラーゼの研究をしていた新宿生がいました。この生徒は微生物が作ったアミラーゼの分子量を測定したかったのですが、高校の設備ではちょっと難しかった。そこで私の知り合いの明治大学農学部の教授を紹介して、明大の機材で実験をさせてもらいました。その生徒はその後、首都大の生命科学科に進学して博士号を取り今では窒素固定細菌の研究者として内外の学会で高い評価を受けています。そのとき実験をお願いした教授に大学で中高生向けの実験教室をやってほしいと頼まれたとき、もちろん私は引き受けました。ネットワークは双方向性なのです。

皆さんはこれから進学し、様々な仕事に就くことでしょう。そのとき文系でも理系でも人と人のネットワークを大切にしていれば、良い仕事、良い研究をして活躍してください。

□ センター試験速報

去る1月18、19日の両日に亘ってセンター試験が実施されました。本校の概況を報告します。(国・英は200点、リスニングと基礎の付く科目50点、他は100点)

大学入試センターによる平均点の中間集計が22日に発表されました。今後、得点調整の有無が24日に発表されます。

また、河合塾と駿台・ベネッセからセンターリサーチの集計に基づく合格目標ラインが22日午後にはネット上で発表になります。さらに、24日には受験生個人に合否判定予想を記した個人票が返却されます。これらをもとに国公立大学2次試験の出願を行ってください。

教科	科目	新宿	中間集計
国語	国語	153.8	116.57
数学	数Ⅰ・A	65.0	53.25
	数Ⅱ・B	63.3	51.58
英語	英語筆記	159.1	118.90
	リスニング	38.8	29.32
地歴	世史B	81.3	65.10
	日史B	85.1	67.22
	地理B	74.8	67.94
公民	倫理	67.3	65.23
	政経	74.8	56.26
	現代社会	70.7	59.06
	倫理・政経	73.0	66.39
理科	物理基礎	40.1	34.32
	化学基礎	37.8	28.99
	生物基礎	37.9	32.65
	地学基礎	31.0	28.06
	物理	71.6	61.64
	化学	69.9	56.23
	生物	74.0	58.69
	地学	なし	40.34
文系 5-8	900 満点	686.6	---
理系 5-7	900 満点	654.6	---

2次の出願は1月27日から2月5日(必着)に行います。前期日程だけではなく後期日程(人によっては中期日程)の出願もこの時に行います。前期日程が不合格になってから後期日程に出願するではありませんので、くれぐれも注意してください。出願関係のスケジュールをまとめておきます。参考にしてください。

1年生、2年生も今後のために流れを確認しておきましょう。

1/22 センター試験平均点中間発表

1/24 得点調整の有無、発表

1/24 センターリサーチ個人票返却

1/25・26 追試験実施 於:東京芸術大

1/27~2/5 国公立2次試験 出願

2/6 センター試験平均点最終発表

2/25 前期日程試験始(発表 3/6~10)

3/12 後期日程試験始(発表 3/20~24)

3/17 新宿高校卒業式

センターが終わり、3年生は特別講習の最中。私大一般入試、国公立2次の記述試験に向けて、気持ちを切り替えて取り組みましょう。

○1、2年生はリアルセンター

今年のセンター試験の問題を、1、2年生でも解いてみようという試験です。各予備校で、無料で、あるいは有料で実施しています。2年生は全員が、1年生は希望者がいずれかの予備校のものを受験することになっています。

1年後、あるいは2年後にむけてモチベーションアップをはかるということに加え、試験の結果を分析し、弱点を自覚して対策を講じておくことが大切です。今年の学年でわからなかったことは今年の学年のうちに分かるようにしておきましょう。



○河合塾記述模試について

2月5日(水)は、校内実力テストで河合塾記述模試を実施します。この河合記述模試は難易度が高いと言われている模擬試験です。7月、11月に受けたベネッセ進研模試の偏差値よりも低めの偏差値になると思いますが、それはこの試験を受験する生徒の母集団が進研模試の母集団とは異なるからです。偏差値とはある集団の中での自分の立ち位置を示す数値ですから、その集団のレベルによって数値の意味は大きく違ってきます。

したがって、夏、秋の模試よりも偏差値が下がったとしてもあまり気にせず、間違えた箇所を冷静に分析して今後活かすようにしましょう。逆に、この試験で良い成績がとれたら大いに自信を持っていいでしょう。

○都立入試の期間を使って

1月と2月はそれぞれ下旬に都立高校の入学試験があり、試験の当日や直後の採点日、在校生は自宅学習になります。土日などもあって、かなり長い休みになりますが、この「休み」をどう過ごすか、少し考えてみてください。

「平日の休み」ですから、土日なら混雑する場所でも空いている、ということもあります。この機会を有効利用するのも悪くないし、美術館などで芸術鑑賞もできます。いろいろ試してみましょう。

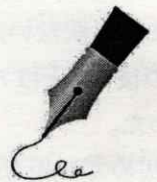
ただ、2月の都立入試が終わるとすぐに学年末考査が控えていることも覚えておきましょう。

2年生は3年0学期が始まりました。2年生というよりも3年生の助走期間に入っています。大学入試共通テストまであと1年を切りました。

○新「共通テスト」に向けて

2021年1月から、これまでのセンター試験に代わって「大学入試共通テスト」が始まります。この試験を受けるのは現在の高校2年生ですが、各大学は2021年を先取りするかたちで入試の改変をすでに行いつつあります。今年のセンター試験でも新傾向の問題がありました。

今後は思考力や表現力をはかる問題が増えてくるようです。知識の詰め込みも大事なのですが、そこに留まらずもう一歩先を考える学習を心がけましょう。また、日ごろから書くことを心がけましょう。言葉を使って書く作業を通し、思考は深まっていくものです。



【今後の予定】

- センターリサーチ返却 3年 1/24
- 国公立2次出願 1/27~2/5(前中後期)
- 都立推薦入試 1/26・27
- マラソン大会 1/31
- 保護者会 1年、2年 2/15(土)

先輩からの言葉

「出合った現実の中にすべてがある」

LCA 国際学園 学園長

23 回生 山口 紀生

今から思えば、ずっと「やりたいことをやる」のが人生だと思って生きている。

一年浪人して小学校の時からあこがれていたエン

ジニアを目指して電気通信大学に入学した。

毎日の大学生活が全く面白くなく、入部した柔道部も新入生が私だけという最悪の環境ですべてが嫌になり退学を決めた。先のことは全く分からないのに

「人間相手の仕事がしたい」と周りを説得した。

再び浪人して横浜国立大学の教育学部に入学した。

二度目の大学もやはりつまらないと思っている折、版画家の宗像志功が亡くなり回顧展に足を運んだ。自分の中に眠っていた生命力が刺激され体内にエネルギーがわき上がってくるのを感じた。こんな仕事があるのか?! 衝撃だった。

版画家を目指す日々が始まった。道を歩きながらもスケッチをし、四畳半のアパートを借りアトリエとした。学務課で「美術科に転部したい」と言ったら「卒業まであと2年必用」と言われ、流石に迷った。すでに高校を卒業して7年が経っている。

教員採用試験も合格していた。一旦就職するか? でも「しょうが無いから教員になりました」では子どもたちに申し訳ない。5年間は迷わず教員として勤める。その後のことは5年後に考える。と心に決めて教員になった。

初めての担任は2年生、つまらない授業をするより自分が感動したことを子ども達に伝えた方が良く信じていた私は、朝からスターウォーズの話をし、段ボールで工作をして教室は宇宙と化した。学級会は水筒に紅茶を入れて芝生の上で輪になってお茶を飲みながら話し合った。

子ども達からは圧倒的な支持を得たが、他のクラスの子供からは羨ましがられ、他の教師からは怒られた。

朝礼台に立って「普通のおじさんになります」と挨拶をして退職した。勤めて6年が経っていた。

退職して自分にできることは子ども相手しかないと思悟った私は勉強と遊びを教える塾をつくった。釣り、サイクリング、スキーなど自分の好きな遊びを子どもたちに教えて楽しんだ。北海道を2週間自転車で回るツーリングキャンプを4年ほどやったら、次の企画が浮かばない。「そうだ、アメリカに行こう」アメリカでホームステイをしてアウトドアのアクティビティをすることにした。

アメリカ、アイダホ州に行った。ホームステイのほか、アメリカ人のガイドを雇ってロッキー山脈をトレッキング。湖を独占しテントを張り、釣りを楽しんだ。本当に楽しかったが、英語が話せれば・・・と誰もが思った。

日本に戻って子どもたちのための英会話スクールを訪ねたが納得のできる場所が見つからず、自分で

英会話スクールをつくることにした。自分も英語が話せないのに・・・

これが私と英語教育の関わりのはじめだ。

1990年から2000年まで英会話スクールを運営したが彼らの英語力は思うほど伸びない。英語を習っているだけで、練習をしているわけでも使ってみる機会があるわけでもない。英語を道具として使う場が必要だ。

英語で指導する幼稚園「LCA プリスクール」を作った。1日4時間の指導を外国人の先生がすべて英語で指導する。

期待以上の成果がでた。卒園する頃には英語だけで何時間でも遊んでいられる。

ところが卒園して小学校に上がると英語を使う場がなくなる。

小学校を作ってほしいと言われた。寺子屋でもいいという言葉を支えに、木造の校舎を大家さんに建ててもらい家賃を払う形でスタートした。この時点では認可はとっていないので、フリースクール扱いだ。保護者のもとに毎年就学義務違反のハガキが届く。

認可だけでもどうにかならないかと思っていたら構造改革特区で株式会社でも学校が作れるという法律ができた。3年以上お役所通いをして株式会社として小学校の認可を得た。小学校を作ったのだ。

そして今から5年前に土地を買い校舎を建てた。校舎を見るたびに、よくここまできたと思う。

学校を作ることが人生の目的ではなかった。目の前にいる子どもたちに必要なことをしてきただけだ。

目の前の現実をよく見て全身で感じれば、自分のすべきことが見えてくる。

どんな場所でも出会った現実から逃げず問題点を見出して解決していく。

止まったまま思いをめぐらし自分探しをしてもなかなかやるべきことは見えてこない。

一歩踏み出したところから景色を見てほしい。社会に自分を当てはめるのではなく、自分が感じたことから社会を変えながら生きていく。

思ったことをする、やりたいことをする、私は66歳の現在までそうやって生きてきたように思う。

(朝陽同窓会のご協力を得て「先輩からの言葉」を掲載しています。)